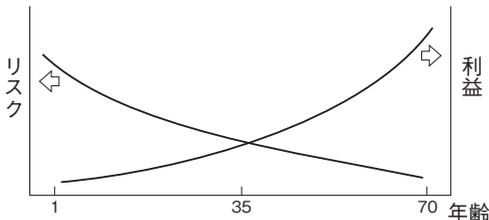


晩発効果

被ばく後、しばらく症状の現われない潜伏期間があるものを**晩発効果**と
いいます。代表的なものに、**ガン**や**白内障**、**寿命短縮**、**不妊**があります。

放射線によって細胞の中の DNA など遺伝物質が損傷すると細胞再生産
がうまく行われなくなります。発ガンはこれが体細胞について起こった場
合であり、細胞は無秩序に細胞分裂を繰り返します。しかし、DNA が損傷
を受けても生体の修復能力によりほとんどの DNA は元通りになります。

発ガンの潜伏期間は、放射線の量や被ばくした部位、年齢などで異なり
ますが、だいたい 10～30 年程度です。また、死に到るような発ガンの
可能性は、全身に 1シーベルトの放射線をあびた場合、5.5%程度です。
一度に 2シーベルト以上を目に被ばくした場合に起こる白内障の潜伏期間
は数年から数十年といわれています。

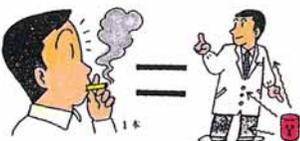


胃部エックス線検査を受ける利益とリスク
(年齢による変化) (概念図)



年をとると、リスクがへる。
これは、晩発効果が数10年の
潜伏期間をもつため、老人の
発ガン率が低くなるためです。

豆知識 タバコと放射線



ガンや白内障は、ほとんどの場合、
放射線に起因するものと他の原因で発
生したものと区別することが困難です。
例えば、1日20本のタバコを1年間吸い
続けた人の発ガンの確率は、70～280ミリシーベルトの放射線被ばく
をうけた人と同じ、という報告もあります。